

事務局だより 準備号 第2号

2005年10月10日
農業協同組合研究会 事務局

いよいよ秋本番。

お米は生育順調。 9月15日現在の作況は、北海道が
109の豊作で、全国では102。

この「2」が なかなかの重みです。

さて、事務局だより準備号 第2号を お届けします。

第2回 シンポジウムを開催します。

テーマ

「農協批判の本質を探る－農協改革・発展の課題」

日時：2005年11月12日(土)
13時30分～17時30分

場所：日本橋公会堂（東京都中央区日本橋蛸殻町）

パネラー：梶井 功 氏(東京農工大学名誉教授・本研究会会長)
ほか3名(予定)

別添 リーフレットの とおりです。
終了後 懇親会を開催します(会費4000円程度)。

60名の参加を得て、第1回の研究会を開催しました。

市場主義強める社会

今こそ、協同組合の出番

農業協同組合研究会が第1回研究会を開く

新しい農協像を確立するためJAグループ関係者や研究者らが4月に設立した「農業協同組合研究会」は9月3日、東京都内で第1回研究会を開催した。

テーマは「現代農協批判論の意図するもの」。財界や政府審議会、さらには農水省からも総合農協への厳しい批判や「解体的改革」までが言われるようになっている。研究会ではこうした批判の問題点を指摘するとともに、農協の改革・発展のための課題を探った。

研究会には約60人が参加。「農協批判以前に農政の検証と今後の日本農業像についての議論こそ重要」との指摘や「組合員の農協参加の強化が再生の課題」などの意見が出るなど活発な意見交換が行われた。

詳細は 別添 記事をご覧ください

理事会報告

9月3日 第3回理事会を開催し

- 1．研究会の運営と当面の活動について
 - 2．常任理事会の設置について
 - 3．ホームページの立ち上げについて
- を次のとおり決定しました。

なお、(1)研究会の運営と当面の活動についてについては、理事会では、原案を一部修正することとし、9月21日開催の常任理事会で修正内容を確認したものです。

1．研究会の運営と当面の活動について

(1) 基本的考え方

設立総会には農協関係者、研究者、ジャーナリストなど多様な層から250名におよぶ参加者があった。これは本研究会に対する関係者の強い期待の現われで、これに応えた活動実施が社会的責務として要請されている。

これに応えるため、本研究会は、協同組合の価値を基礎とした協同のあり方について研究し、協同の再構築による農業組織の改革・発展を目指した取り組みの強化に寄与する必要がある。こうした考え方を基本に、今後の対策を講ずるものとする。

(2) 研究企画部の設置

研究会活動を体系的、継続的に実施するための研究企画部をおき、主として「協同組合運動の調査・研究」と「研究発表会、講演会の開催」の企画立案およびその推進に当たる。

研究企画部は部長と会員(若干名)で構成し、常任理事の中から会長が選任する。(注)

(3) 第2回シンポジウムの開催

- 1) テーマ : 「農協批判の本質を探る 農協改革・発展の課題」(仮題)
- 2) 開催期日 : 2005年11月12日(土) 午後1時30分から
- 3) 場 所 : 日本橋公会堂
- 4) 内 容 :
 - ・ 農業情勢と農協批判
 - ・ 協同組合理論からみた農協批判と農協改革の方向
 - ・ 生協からみた農協への提言
 - ・ 現場からの報告と課題提起(2人)

(4) 課題別研究会の開催

当面する重要問題について研究を深めるため、課題別研究会を開催する。課題の設定と運営は研究企画部が当たる。当面、次の課題別研究会を開催する。

研究テーマ

次のようなテーマを取り上げ、理論と実際について研究する。

- 1) 販売事業の再構築(具体的品目を対象)
 - ・ 米マーケットの変化と系統農協の事業方式
 - ・ 卸売市場法の改正(卸売市場の機能変化)と
青果物委託販売方式の転換
- 2) 農協の営農指導事業の課題
- 3) 経済事業と信用・共済事業の分離問題
- 4) 全農の組織改革と当面する課題

運営方法

- 1) 課題別研究会は原則として2ヶ月に1回開催する。
- 2) 研究会は発表者が課題を提起し、会員による自由な討議を基本とする。
- 3) 必要により施設、現場の視察を実施する。

(5) その他

- 1) 研究企画部の活動についてはその都度理事会に報告するものとする。

- 2) 課題別研究会、シンポジウムをはじめ研究会の活動内容と結果については可能な限り農業協同組合新聞、ホームページなどによりその都度会員に公表し、併せて意見を聴くものとする。
- 3) 課題別研究会、シンポジウムの企画検討の過程で、必要に応じ会員外の関係者からも意見を聞くことができる。
- 4) ここに想定した以外の事項が生じた場合は理事会(常任理事会を含む)の承認のもとで実施することができる。

以 上

(2 0 0 5 年 9 月 3 日 理事会で協議 9 月 2 1 日 常任理事会で確認)

(注)

研究企画部は 部長に北出 俊昭氏、部員は倉光 定巳氏、原田 康氏の 2 名が選任されました。

2 . 常任理事会の設置について

理事のうち、以下のメンバーにより常任理事会を設置し、理事会に付議する事項の協議・検討および研究会の運営に関する軽易な事項の決定などを行うこととします。

常任理事 (1 3 名)

氏 名	役 職 など	氏 名	役 職 など
梶井 功	前東京農工大学学長	倉光 定巳	元 JA 共済連参事
中川 敞行	(社)農協協会会長	佐々木昌子	(社)農協協会常任理事
北出 俊昭	明治大学教授	原田 康	元農協流通研究所理事長
田代 洋一	横浜国立大学教授	松下 雅雄	JA はだの組合長
谷口 信和	東京大学教授	森口 俊	全農青果サービス(株)社長
森島 賢	立正大学名誉教授	上住 建之	JA 全農米穀部
岡本 末三	元農政ジャーナリストの会副会長		

3 . ホームページの立ち上げについて

本研究会の会員および、農業・農協問題に関心をお持ちの皆さんに本研究会の活動状況を速やかにお伝えするため、以下により「ホームページ」の作成を進めます。

1 . ホームページの概要

(1) 設定および維持管理費用の節減とメンテナンスの安定を図るため、当面 JA . Com に同居させていただくこととします。

(2) ホームページの構成

表 紙

設立趣旨・規約・募集など

活動報告（事務局たよりのなもの）

研究発表（論文など）、研究会・シンポジウムの報告など

会員の広場（意見交換など）

2 . 検討体制

森島先生をチーフとして、農協協会の協力を得て事務局で案を策定し、常任理事会で決定することとします。

3 . 時期および費用

(1) 農協協会のホームページの改定時にあわせて、本年 10 月頃を目途に開設します。

(2) ホームページ設計の費用は、10 万円程度を予定します。

なお、維持費については会の負担能力をふまえ、今後検討します。

(2005 年 9 月 3 日 第 3 回理事会)

< 農業協同組合研究会事務局 >

〒102 - 0071

千代田区富士見1 - 7 - 5 (農協協会 内)

電話 03 - 3261 - 0051 (代)

fax 03 - 3261 - 9778

E-メール m-sasaki@jacom.or.jp